

トップメッセージ



- Sustainability -

持続的成長を
実現していくために、
私たちは未来に向けて
挑戦します

代表取締役社長 **西田 義則**

❖ 信頼回復に向けて

当社は、2019年7月30日に公正取引委員会より、アスファルト合材カルテル事件（2017年2月に発覚）に関する排除措置命令および課徴金納付命令を受けました。事件発覚以来、二度と同様の事件を起こさないために、様々な再発防止策を講じてまいりましたが、この度の命令を厳粛かつ真摯に受け止め、今後より一層、法令遵守の徹底に取り組み、信頼回復に努めてまいります。

そして、全役職員がコンプライアンスの基本に立ち

返り、「新生大成ロテック」として再出発いたします。

❖ 私たちを取り巻く環境および課題

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設事業がピークを迎え、また、防災・減災、国土強靱化施策や民間プロジェクト等による建設需要もあり、総じて建設市場は堅調に推移しています。一方で、建設投資の内容としては、インフラの新設から維持修繕へとシフトが進み、PFI・コンセッション事業が拡大していくなど、

市場環境は緩やかではありますが刻々と変化しています。

また、少子高齢化社会が進む我が国において、担い手を確保し生産体制を維持していくことはまさに喫緊の課題となっており、国・業界を挙げて「働き方改革」と「生産性向上」への取り組みが行われています。

❖ 中期経営計画(2018-2020)の目標達成に向けて

2018年度からスタートし持続的成長を目指した中期経営計画(2018-2020年度)では、コンプライアンスを全ての事業活動の前提としています。その上で、①景観性・耐久性の高い石張舗装の「インジェクト工法」、ヒートアイランド対策となる「保水性舗装」など当社の強みを生かした「本業のさらなる強化」、②維持修繕事業や建築事業、海外事業、再生エネルギー事業等の「新たな事業分野への挑戦」、③IT技術の活用や人事諸施策などによる「働き方改革・生産性革命の推進」、④ものづくりを行う企業の責務として「安全・環境・品質トラブルの防止」、⑤大成建設グループ、大成ロテックグループとの「グループ連携強化」などの取り組みを推進し、社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

❖ 「自然」と「社会」と「人」に深くかかわる企業として

日本各地で大きな自然災害の発生が続いている中、当社は企業の社会的責任を果たすことを念頭に事業活動を継続してまいります。そして、こ

れからも道路建設を中心とした社会基盤の整備にかかわりながら、企業理念である「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する」ことを実現してまいります。

❖ 働き方改革と生産性革命

当社は、将来の担い手確保を重点課題の一つと位置付けており、全社一丸の取り組みとして、2020年度より、新入社員には配属先の繁忙度・状況に拘わらず、土・日休暇100%取得を保証することを決定いたしました。

長時間労働の削減、休日取得に対する意識改善を行い、就業時間選択制、変形労働時間や時間有休制度等、多様性のある働き方の取り組みによって魅力ある職場づくりを推進していきます。

また、働き方改革を進めるには、生産性の向上が必須となることから、ICT技術(情報通信技術)の建設現場への導入促進や年間工事消化量の偏りの平準化、安全・品質トラブル防止などの取り組みも併せて推進していきます。

❖ 当社の未来

東京オリンピック・パラリンピック後も建設市場は一定の規模を維持していくものと見ていますが、当社はその先の未来を見据え、時代や環境の変化に対応していき、持続的成長を実現していくための経営基盤を強化していきます。

当社は、2021年に創立60周年を迎えます。大成建設グループの中核を担う企業として、これからも社会に必要とされるために、道路業界における「名実ともにNo.1」を目指し挑戦していきます。